



2019 年度/第 68 期

環境経営レポート

2019 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日



BRIDGESTONE

ブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社

本社/群馬県高崎市問屋町西 1-5-9

TEL027-363-4366(代) FAX027-361-1840

作成日:2020 年 2 月 29 日

《ご挨拶》

当社は、1952年の創業以来、世界第一位のタイヤメーカーである株式会社ブリヂストンの群馬県総代理店（代理店登録番号 41号）として、自動車用タイヤおよび自動車用品の販売を行っております。

当社では、昨今、地球レベルでの環境問題が叫ばれる中、本業における環境活動として、メーカーから販売店への商品直送率の向上や低燃費タイヤエコピアをはじめとしたグリーン購入法適合商品の増販にも計画的かつ積極的に取り組んでおります。これまでの成果を纏めましたので、ご高覧いただき、ご指導、ご指摘をいただき次の環境活動に生かして参りたいと思います。

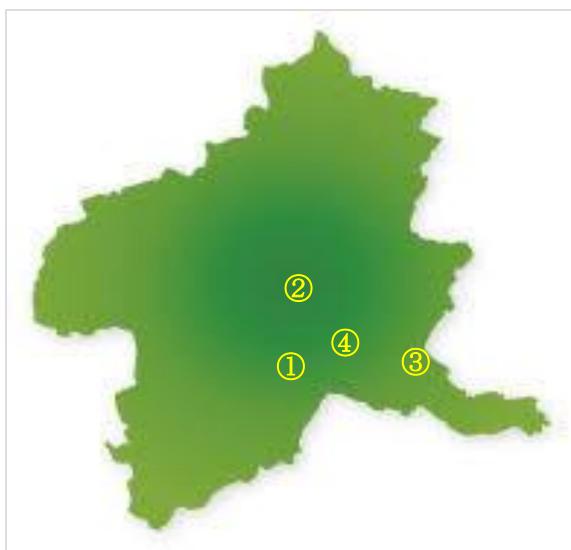
2020年2月29日
ブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社
代表取締役 橋谷 晋治



1952年 株式会社ブリヂストンの群馬県総代理店となる



2010年 株式会社ブリヂストンより
環境活動奨励賞を受賞



事業活動の規模

事業所名及び代表者名

ブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社

代表取締役 橋谷 晋治

本社所在地

〒370-0007

群馬県高崎市問屋町西一丁目 5 番地 9

TEL 027-363-4366 / FAX 027-361-1840

URL <http://www bst-takasaki com/>

・営業所所在地

① 問屋町営業所	高崎市問屋町西一丁目 5 番地 9	TEL	027-361-1836
② 渋川営業所	渋川市八木原 1387	TEL	0279-22-2607
③ 桐生営業所	桐生市広沢町 5-1479-1	TEL	0277-52-1421
④ 前橋営業所	前橋市六供町 1341	TEL	027-260-8686

・環境保全関係の責任者及び担当者

代表責任者	:	代表取締役	橋谷 晋治
環境管理責任者	:	総務部部長	染谷 悟
EA21 事務局	:	総務部部長	染谷 悟

・事業の内容

ブリヂストン製の自動車用タイヤ・自動車用品・更生タイヤ及び自動車関連用品の卸売業

・事業の規模

	単位	2016 年度 (65 期)	2017 年度 (66 期)	2018 年度 (67 期)	2019 年度 (68 期)
主要商品売上高	千円	3,000,315	3,233,321	3,142,812	2,994,275
従業員数	人	44	44	44	41
延べ床面積	m ²	6,365	6,365	6,365	6,365

・対象範囲 全事業所の全事業内容

・対象期間 2019 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日

環境経営方針

[基本理念]

私たちブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社は、かけがえのない地球環境のたまものである資源を大切に使い、可能な限り環境へ負荷をかけない経営に心がけ、環境にやさしい当社の環境対応商品を積極的に販売することで、社会の発展に貢献してまいります。

[基本方針]

環境保全活動を推進するにあたり、事業活動、組替作業、商品配送に関わる環境への影響を考慮し、以下の項目を重点的に推進します。

1. 当社の主力事業である、自動車用タイヤの販売において環境タイヤ「エコピア」を中心としたエコ対応商品を積極的に販売し、環境負荷の低減に努めるとともに、メーカー直送率を高め輸送効率の向上に努めます。
2. 二酸化炭素排出量削減のため、使用電力削減・ガソリン使用量の削減・廃棄物の単純焼却の削減に努めます。
3. 事業活動で発生する廃棄物は、その発生を抑制するとともにリサイクルの推進に努めます。
4. 限りある水は、使用量削減のため節水に努めます
5. 資材、機器、備品および用品などのグリーン商品の購入を推進します。
6. 環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境汚染を防止する法規制を遵守するとともに、環境負荷を削減するための自主目標を設定し、その達成に向けた取り組みを行ないます。
7. 環境経営方針は、全社員に周知するとともに、各自が役割を自覚して行動出来る様、教育を行い環境に関する意識の向上に努めます。

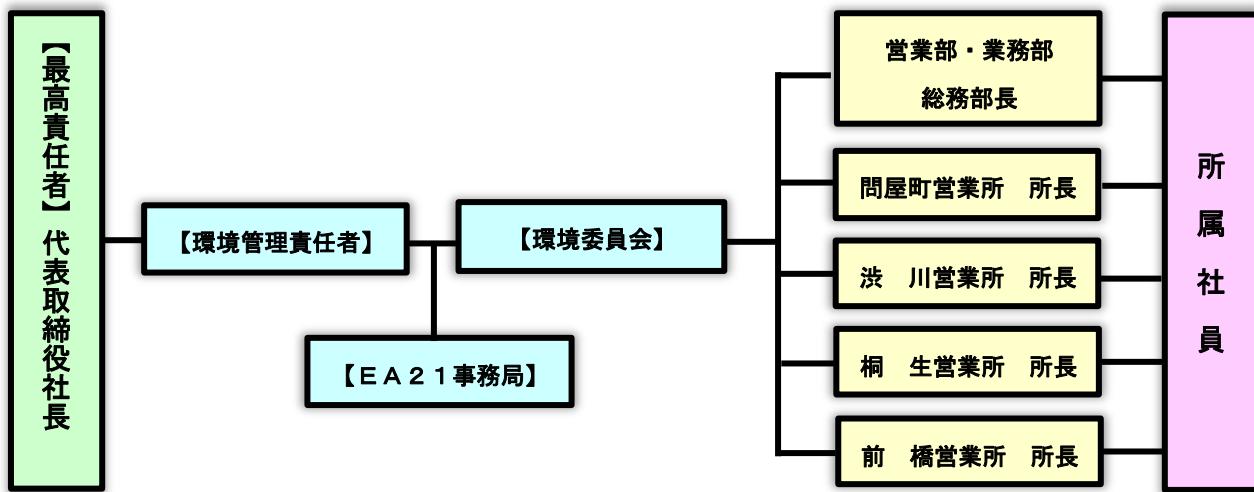
～ この環境経営方針は、社内外に公表します ～

2020年2月29日作成

ブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社

代表取締役 橋谷 晋治

取組実施体制および主な役割と責務



職名	役割
最高責任者 代表取締役 橋谷 晋治	環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命し、該当責任者には、現在の責務には関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 環境経営方針を制定し、EA21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源を準備する。また、構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じて改訂を指示する。
環境管理責任者 取締役総務部長 染谷 悟	EA21に関する経営諸資源の合理的かつ効果的な運用を図り、目標を達成するために環境委員会を運営する。最高責任者による見直しのため、構築・運用に関する情報を最高責任者に伝達する。EA21審査機関や外部関係者（行政・各種団体等）との窓口業務
EA21事務局	環境責任者を補佐し、EA21に関する実務全般を所管する。 各営業所の月次データを収集し、環境管理責任者に伝達する。
環境委員会	月次環境目標の掲示・環境経営計画の進捗管理について協議をする 不適合項目や各エネルギー等の月次実績におもわしくない箇所がある時は、その原因の確認と削減の方法について話し合う。
環境委員	各エネルギー使用量等を計測し、EA21事務局に報告する。環境経営計画にある環境経営目標達成の為の取組項目の推進と社員の理解度を管理チェックする。 排出物の把握、分別リサイクルの推進、排出物置場の整理整頓。社有車の運行管理表をチェックし、燃費等を把握する。 不適合案件が発生した場合は、環境委員が中心となり改善に向けた活動を行う。
所属社員	環境経営目標達成の為の取組項目を実践して、改善活動の参加意識を持ち経費削減に協力する。

環境経営目標と実績

2010 年の環境負荷実績を基準年として 2018 年実績を踏まえ、次年度以降の中期目標を設定しました。

管理実施項目 単位	2010 年実績	2018 年実績	2019 年計画	2019 年実績	2020 年計画
	基準年	基準年比	基準年比	基準年比	基準年比
二酸化炭素排出量 Kg/百万円	100.8	70.6	65.7	65.1	65.0
	—	70.0%	65.2%	64.6%	64.5%
二酸化炭素排出量 Kg	273,377	204,461	212,500	195,107	210,300
	—	74.8%	77.7%	71.4%	76.9%
電力使用量 Kwh	251,100	174,887	180,600	149,760	178,800
	—	69.6%	71.9%	59.6%	71.2%
ガソリン使用量 ℓ	60,480	38,628	39,600	36,000	39,200
	—	63.9%	65.5%	59.5%	64.8%
軽油使用量 ℓ	9,876	15,296	16,500	12,322	16,400
	—	154.9%	167.1%	124.7%	166.1%
水道使用量 m ³	647	617	592	666	586
	—	95.4%	91.5%	102.9%	90.6%
可燃ごみ排出量 Kg	2,282	1,384	1,250	1,284	1,238
	—	60.6%	54.8%	56.2%	54.3%
ガス使用量 m ³	110.7	107.0	95.0	105.3	94.0
	—	96.7%	85.8%	95.1%	84.9%
TLR+RTLR ECOPIA(本数)	2,029	1,352		1,251	—
	—	66.6%		61.6%	—
プレミアム定番 ECOPIA(本数)	14,980	26,120		28,352	—
	—	174.3%		189.2%	—
メーカー直送比率 %	33.3%	43.6%	46.0%	52.2%	53.2%
	—	130.9%	138.1%	156.7%	—

TLR+RTLR はトラックバス用タイヤ / ECOPIA プレミアム定番は乗用車用タイヤ

電力使用量について、事業者名: 東京電力エナジーパートナー(株)、排出係数: 0.425(Kg-CO₂/kWh)です

2019 年環境経営目標の取組み実績と評価並びに次年度の取組み

基準年は 2010 年です

電力使用量(Kwh)

取組み実績: **計画比 82.9%、基準年比 59.6%**

評価:

前橋営業所の照明の LED 化、自動点灯照明への切り替えを 9 月に実施した効果も大きいと思います。

金額面でも前年比 91.6%(424,133 円の節約)と好結果です。

次年度の取組み:

LED 化も本社の一部を除き終了、日常の業務で出来る節電を心掛け実践させて行きます。

水道使用量(m³)

取組み実績: **計画比 112.5%、基準年比 102.9%**

評価:

本社において漏水の異常値が見つかり数値が上がってしまいましたが、他は問題ありませんでした。

次年度の取組み:

引き続き節水指導と水道メーターの月次目視チェックを実施します。

LP ガス・都市ガス使用量(m³)

取組み実績: **計画比 110.8%、基準年比 95.1%**

評価:

使用量は冬場の繁忙期に集中していますが、特に問題はありませんでした。

次年度の取組み:

引き続き、無駄な使用を控えるよう指導して行きます。

ガソリン・軽油使用量(L)

取組み実績: **計画比 86.1%、基準年比 68.6%**

評価:

ガソリン・軽油の合計使用量 48,322L で比較、平均燃費を確認したところ、ガソリン車が 11.06Km/L(前年比 102.1%), 軽油車が 8.58Km/L(前年比 102.1%) と平均燃費が向上した結果、二酸化炭素排出量削減に貢献出来たと思います。

次年度の取組み:

ハイブリッド車(6 台保有)がデータを底上げしているのは確かですが、引き続き車両毎の燃費を公開し、エコドライブ運転を推進して経費削減に努めます。

メーカー直送率

取組み実績: **計画比 113.4%、基準年比 156.7%**

評価:

売上比率 46.0%の計画に対し実績は 52.2%と目標を達成、基準年比 156.7%という結果、販売金額 152,767 万円をメーカーより取引先販売店へ直送する事が出来ました。

次年度の取組み:

引き続き販売店様とコミュニケーションを取り商品の直送化を推進します。

可燃ごみ排出量(Kg)

取組み実績: **計画比 102.7%、基準年比 56.2%**

評価:

100.0Kg 削減の活動結果でした。

次年度の取組み:

分別ルールの徹底、廃棄物置場の整備、リサイクルとリユースの区別の徹底を図り、更に意識付けをして行き廃棄物排出抑制に取り組みます。

二酸化炭素排出量削減の取組み結果

取組み実績:

二酸化炭素の排出総量は、**計画比 91.8% 17,393Kg の削減、基準年比 71.4% 78,270Kg の削減**という結果で売上高百万円当りの排出量についても、**計画比 99.1%、基準年比較では 64.6%**でした。

評価:

排出量の多い化石燃料の使用量削減と電力の LED 化に伴う使用量削減が結果として表れて来ています。

次年度の取組み:

温室効果ガス排出量に占める軽油の使用ウエイトが基準年(2010 年)の 9.5%から比較して高くなっていますので、エコドライブ講習等を行い、燃費向上に努め、他の取組み項目も含めて、総排出量の削減活動を実践して行きたいと思います。



年度別 CO2 削減目標と CO2 削減実績の推移をグラフ化しました。
2010 年を基準年にした結果、2012 年から 2014 年までは、削減実績率が前年を上回っていましたが、2015 年からは削減実績率が 5 年連続クリア出来ました。2016 年以降は、削減計画も 4 年連続達成する事が出来ました。



年度別売上高とCO2排出量の推移

2012年から2014年までは、売上高に比例して二酸化炭素の排出量も増えていましたが、2015年以降は、一部の拠点で環境対応設備（照明のLED化）に切り替えた効果も反映されましたが、売上高に反比例した実績に変わって来て、昨年のCO2排出量は、ピークの2014年247,239Kg比21.0%減の195,107Kgと過去最少の実績でした。



年度別百万円あたりのCO2排出量

過去の売上高は、周期的に増減を繰り返しており、売上高百万円あたりの二酸化炭素排出量も同じサイクルで上下しています。昨年の売上高は前年比95.3%でしたが、それ以上の好結果が伴いました。



年度別電力料金と電力使用量推移

EA21取組初年度の2008年と2019年の電力の使用料金を比較しますと、
2008年 7,496,131円
2019年 4,632,598円
金額で2,863,533円の削減、率で61.7%の減少
電力使用量は東日本大震災が起きた2011年を下回る149,760Kwhを記録して過去最少の使用量で終わりました。

2019年環境経営計画達成の為の取組項目とその成り行き

環境目標	環境活動計画	評価
省エネルギー活動の推進 化石燃料の使用削減	【電力使用量の削減】	
	① エアコンは冷房 26°C、暖房 22°Cに設定する	○
	② 部屋や廊下の照明は、退出時は必ずスイッチを切る	○
	③ 倉庫の照明はまめに消灯する	△
	④ エアコンの定期清掃の実施	○
	【燃料使用量の削減】	
	① エコドライブの実践	○
	② 不要なアイドリングはしない	○
	③ 車両担当者は、定期的にタイヤの空気圧をチェックする	○
	④ 不要な荷物を載せたまま走らない	△
節水活動の推進	⑤ 冷房・暖気運転は適切に	○
	⑥ 急発進、急加速、急ハンドルはしない	○
	① 日々節水を意識し、手洗い時、まめに蛇口の開け閉めを実践	○
紙使用量および廃棄物の削減	② 蛇口は完全に閉め、止まっているか確認する	○
	③ 水道元栓の確認、漏水防止のため毎月メーター確認	○
	【コピー用紙の削減】	
	① 印刷前にPCのプレビューで印刷範囲等ミスがないか確認する	○
	② 片面未印刷の用紙は、裏紙用紙として活用する	○
	③ 裏紙コピー用紙の置き場を確認する	○
	【廃棄物の削減】	
	① 分別ルールの徹底（資源ごみと廃棄ごみを一緒のくずかごに入れない）	△
	② 廃棄物の置き場の整理・整頓	○
	③ 封筒の再利用	○
安全・防災	④ 産業廃棄物の適正な管理・マニフェストの適正管理	○
	【安全・防災】	
	① 火災発生時の役割の確認（防災組織図）	○
	② 消火栓・消火器のある場所の確認	○
	③ 事業所平面図の確認	○
社会貢献活動	④ 業者による防災設備点検時に使用方法を練習する	○
	① タイヤの日 安全啓蒙活動の推進	○
	② 事務所周辺の定期的な清掃を実践	○

事業所全体の取組状況 ○：全体で取り組めている △：いま一歩

廃棄物の分別ルールの徹底



業務で排出される廃棄物の分別方法

新しいホイールを組み替える時に排出される廃棄物は、ダンボール外箱、中蓋とビニール袋があり、有価資源ごみ・産業廃棄物となるビニールに分別し排出しています。

右側	ビニール袋専用	産業廃棄物
中央	中敷きダンボール	有価資源ゴミ
左側	ホイールカバーやラベル	可燃ゴミ

電力使用量の削減対策



定期的なエアコンのフィルター清掃

フロン排出抑制法に基づき室外機の定期点検も実施
エアコンの温度設定を寒暖の差によりこまめに調整
まめな照明の点灯・消灯を励行



環境にやさしいドライブと地球温暖化防止のための 10 のポイント

- (1) 環境にやさしいクルマ、タイヤの購入を心がけましょう。
- (2) 計画的にドライブをしましょう。
- (3) タイヤの空気圧をチェックしましょう。
- (4) 不用な荷物を降ろしましょう。
- (5) 暖気運転は適切におこないましょう。
- (6) カーエアコンの設定はこまめに調節しましょう。
- (7) ふんわりアクセルを心がけましょう。
- (8) エンジンブレーキを積極的に使いましょう。
- (9) 不要なアイドリングはやめましょう。
- (10) 環境による活動でCO₂を削減しましょう。

4月8日をタイヤの日として、
安全啓発活動（タイヤの空気圧不足は燃費の低下に繋がる事 etc）
を実施

社用車におけるエコドライブ 10の実践

担当者の車両の燃費を計測して、
燃費向上を目標に、エコドライブ
運転を実践

町内清掃奉仕活動



地元の小学生が課外授業でタイヤ館を訪問

令和元年10月25日に地元の桐生市立広沢小学校の2年生が引率の先生と一緒に課外授業で来てくれました。

将来、お客様となってくれる子供たちもタイヤとホイールの仕組みについての説明に真剣に聞き入ってくれました。

問屋街クリーン大作戦

令和元年10月9日（水曜日）に高崎問屋街96社486人が参加して、高崎卸商社街の幹線道路の清掃活動に参加。

また、毎月第2水曜日は町内一斉清掃デーで事業所周りの草刈りや清掃活動を行っています



環境宣言



環境宣言

ブリヂストングループの掲げる環境宣言を事業所内に掲示して、エコアクション21活動と連動して活動しています



環境関連法規制の遵守状況

適用される主な環境関連法規の遵守状況

環境関連法令	要求事項	関連部署	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管場所の旨の掲示 収集運搬・処分業者との契約 マニフェストの保管管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の届出	全拠点 本社 本社 本社	遵守 遵守 遵守 遵守
浄化槽法	浄化槽の保守点検 浄化槽法 11条検査の遵守	渋川 渋川	遵守 遵守
騒音規制法	特定施設設置届出書の提出 騒音規制基準値の遵守	本社 桐生・前橋	遵守 遵守
振動規制法	特定施設設置届出書の提出 振動規制基準値の遵守	本社 桐生・前橋	遵守 遵守
消防法	消防用設備等設置届出 消防用設備等点検結果報告書の届出 初期消火避難模擬訓練の実施	本社 本社 全拠点	遵守 遵守 遵守
自動車リサイクル法	社用車のリサイクル費用支払い義務 車検時の預託証明書の有無確認	本社 全拠点	遵守 遵守
家電リサイクル法	使用済み家電の適正処理	全拠点	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検実施	全拠点	遵守
水銀使用製品廃棄物処理法	指定業者との契約 排出方法の遵守	本社 全拠点	遵守 遵守
下水道法	下水道への不適切放流禁止の遵守	渋川を除く 拠点	遵守
P R T R 法 (化学物質排出量)	特定化学物質の取扱量の届出 製品安全データシート (MSDS) で有無確認	本社 全拠点	遵守

環境関連法規の違反、訴訟等の有無

2020年1月31日の環境関連法規遵守状況の確認において、違反、訴訟はありません。
 また、関係機関からの指摘や指導、及び環境に関する苦情等過去3年間においてありませんでした。

《代表者による全体評価と見直しの結果》

前年度は販売計画の達成が厳しい一年で終了し、各資源の使用量の増加が懸念されましたが、エコアクション21活動の趣旨も事業活動に浸透し、目標である二酸化炭素排出量は、取組みを始めてから過去最少の数値を維持しております。

今後は、販売計画と二酸化炭素の排出削減（経費削減）の両方で目標達成するよう、必要に応じて、社内インフラ整備をし、社員一人ひとりの環境改善意識が、更に向上するよう引き続き活動を続けて参ります。

以上

2020年2月29日作成

ブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社

代表取締役 橋谷 晋治



The logo for Bridgestone, featuring a red stylized 'B' icon followed by the word 'BRIDGESTONE' in a bold, black, sans-serif font.

BRIDGESTONE